

石井有美の「しゃべる箱」

なにゆえに「しゃべる箱」なのか？本人に会ったら、ぜひ聞いてみてくださいね！

第1話：本当に北海道の人？

私の実家は北海道の札幌市です。と言うと「道が広くて真っ直ぐでいいね」、「時計台は以外と小さかったなあ」、「美瑛のじゃがいも畑は素晴らしい」、「カニとウニを送ってくりょう」など、みなさん色々な話をしてくれます。

私が知らないことばかりで、北海道のこと、みんな詳しいなあと感心する毎日です。

実家での日々は、買い物は歩いて5分のスーパー、高校までは自転車で10分、休みの日には家から出ないという「生活圏半径2km」の毎日でした。だから、羊ヶ丘展望台も富良野ラベンダー畑もテレビでしか見たことはありません。

皆様からの北海道マメ知識を随時募集しています。よろしくです。(おいおい・・・)

最近の私は、地名の農林業センターに主に出没中です。地下足袋・麦わら・首タオルと、完全武装して草むしりに奮闘中です。今後、さらなる太陽エネルギー対策に力を注ぎます。

毎日夕方5時を過ぎると、スーパーでポーズとしている私を見つけることができます。「何食べよう？」と真剣に考えているので反応鈍いです、ご注意ください。

私の乗っている車には若葉マークと「緑のふるさと協力隊」と書いたステッカーが貼られています。お見かけの際は、「おっ！こいつが、あの変な文章を書いた奴か」と、ちらっと思っただけであれば幸いです。

では、また来月！！

お世話になった川崎さん(右)と初対面
写真左が石井さん



私「100歳」元気です！



6月1日、樺原スズヨさん(徳山)が100歳の誕生日を迎えられました。あかいしの郷職員が作ってくれた「くす玉」を割ってお祝いです。ご家族や周りのみなさんに囲まれて嬉しそう。

おめでとうございます。末永くお元気でいてくださいね。

1歳に

小澤希海香ちゃん

〈H17.6.21生 梅高〉
父：世貴也・母：留美
歌が大好きなきみか。いつも笑顔でまわりのみんなを和ませてくれるね。
お兄ちゃんに負けないように、元気良く、そしてやさしい子に育ててね。



✉ 件名 : 編集後記

今号でご紹介した「子育て支援特集」は、当初、事業の紹介だけで構成する予定でした。しかし、子育てを考えたとき、自分もほんの少しだけ大変だった経験があり(大半の苦労はうちの奥さんのものですが)、子育てなら、ぜひ体験談を前面に出そう、その方が実感のこもったページになると考え、ある方に寄稿いただきました。町内に、子育てで目が回りそうな親御さんがたくさんいると思います。子どもは無邪気です。邪気がないのは分かっているんです。でも、親だって人間ですから、怒れるときも気が滅入るときもあるかと思っています。子育ては苦労と喜びの連続です。その「苦労」の部分でも支援できたら。そんな気持ちを込めて、役場の取り組みをご紹介します。今号を読んだ親御さんが、少しでも共感してくれたら嬉しいです。匿名希望のためお名前は明かせませんが、執筆していただいた「あるお母さん」、ありがとうございました。偶然が生んだ記事構成ではありましたが、結果的に素晴らしい記事になったと思います。厚く御礼申し上げます。しかし構成はヘタでした。すみません。。。(来号では出産前のお母さんを応援する事業をご紹介します予定です)
*本を貸し出しする「やまびこ号」の停留所が一つ増えました。これは、地元の要望を受け、教育委員会が早急に動いて実現したものです。嬉しいニュースですね！広報も一つの所にとどまることなく、変わり続けていければと思います。広告の募集も「挑戦」の一つです！ 小笠原聡